



第52回全国商工会議所女性会連合会倉敷総会



コロナの影響により初のオンライン開催

10月23日（金）、第52回全国商工会議所女性会連合会「倉敷総会」がオンライン生配信で開催されました。当女性会では、白山商工会議所3階研修室にスクリーンを設置してライブビューイング会場としました。会員24名が生配信を視聴し、地元に住ながらにして倉敷総会に参加、体感しました。

全国商工会議所女性会連合会の設立当初より毎年各地で開催されている全国大会（総会）は、全国の女性会が交流し絆を深めることができる場所として力強いネットワークを構築してきました。今年「新型コロナウイルス」の世界的流行により、その開催が未曾有の危機に直面し、開催の中止や延期もやむなしかと思われていました。

しかし、継続してきた営みを絶やしたくないとの強い思いから、安全を配慮し、全国各地から参加可能となるオンライン開催の道が選ばれました。

総会はオンラインならではの特色を生かしての開催となりました。全国の女性会からの応援動画がオープニングを飾りました。日本商工会議所会頭ほか来賓からのお祝いメッセージが映像で寄せられ、女性起業家大賞や、個として光る女性会事業表彰では、受賞された方々を各地より生中継で繋ぎ、受賞の喜びが語られました。さらに合間には、倉敷の歴史・文化・食の魅力がまとめられたPR映像が発信されました。開催準備に奔走された実行委員会の皆さまの結束力と頑張りの賜物と感じました。

倉敷総会のテーマは「ここから広げようSDGsの取り組みを」歴史の薫る文化と産業の街倉敷から「です。私たちが取り巻く環境は非情に生きづらい世の中となっています。だからこそ、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念のもと、しなやかな感性と発想、前向きな明るさを持って乗り越えていくときです。

今回のようなりもトによる全国規模の大会を開催することは、今後の試金石として非常に意義深いものと思われ

冬もコロナ対策

基本的な対策を徹底しましょう。

いつでもマスク
気を付けたい「5つの場面」

内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策推進室



記念講演

倉敷総会の終了後、「過去の歴史と明るい未来の結末点としての現在」SDGsから倉敷を語る」と題して大原美術館理事長の大原あかね氏による記念講演会が開催されました。

大原美術館は今年、開館90周年を迎えます。全国に美術館がほとんどない時代、西洋絵画が倉敷へやって来しました。



大原美術館

大原美術館を創設した大原孫三郎は、倉敷紡績（現クラボウ）の創業家である大原家の七代目です。そして美術館理事長の大原あかね氏は、大原家の十代目になります。

大原美術館と 倉敷の歴史

大原美術館の作品収集は大原孫三郎の友人であった岡山県出身画家児島虎次郎が担っていました。孫三郎の支援を受けた虎次郎は渡欧し、集めた絵画はエル・グレゴやゴッガン、モネなどの作品が中心でした。太平洋戦争末期、これらの名画の存在により倉敷は空爆を免れたという説もあります。

早世した虎次郎を悼み、収集した作品と彼の作品を公開する為に美術館の建設を決意します。世界恐慌の中、自身が社長を務める倉敷紡績の業績も順調ではありませんでしたが、孫三郎は美術館建設に邁進しました。

このように孫三郎は実業家のみならず社会事業においても最先端を走っていました。

地域の繁栄なくして会社も人の暮らしも豊かに継続することはできないと鉄道の誘致、トンネルの開通、電力、病院、託児所などを整えることに尽力しました。従業員やその家族、倉敷の人々の幸福を願いました。社会的課題を解決するには科学や学問の力が必要と考え、三つの研究所を設立しました。「大原奨農会農業研究所」、「大原社会問題研究所」、「倉敷労働問題研究所」です。これらは現在も岡山大学「資源植物研究所」、法政大学「大原社会問題研究所」、「大原記念労働科学研究所」として活動を続けています。

受け継がれる使命

大原美術館を含め受け継がれている社会事業はSDGsの視点にたっています。孫三郎の信念「余の使命は教育にあり」が物語っています。大原家八代目の総一郎は、「美術館は生きて、成長していくもの」との信念をもって、美術館を最も大きく発展させた人です。戦時中も閉館することなく見学者を受け入れていました。

社会的課題を解決するにはあかね氏は今、それらの信念にSDGsの理念を見出し、新たな時代に新しい美術館の在り方を模索しています。そして、大切な活動として子供たちへの教育普及活動を始めました。

今を生き、未来をつくる子供たちと共に成長していく美術館であり、子供たちに生きる力を育てて欲しい、彼らが大人になり、また、訪ねてくれる美術館でありたいと願っています。これからの「大原美術館」から目が離せない気持ちになります。



大原本邸（旧大原家住宅）



倉敷市の魅力いろいろ

倉敷市は、江戸時代初期より幕府の直轄地「天領」です。物資の集積地として発展してきました。



白壁なまこ壁や格子窓など当時は偲ばせる街並みの残る美観地区や日本初の私立西洋近代美術館「大原美術館」などのアートの街

コンビナートと瀬戸大橋



経済産業の中核を占める
「水島コンビナート」

倉敷と香川県坂出市を結ぶ「瀬戸大橋」



ジーンズの児島

1965年に初の国産ジーンズの量産を開始、商店街の空き店舗を活用した「ジーンズストリート」は世界中のジーンズの聖地となっています。

魅力いっぱいの倉敷、ぜひともゆっくり訪れてみたいものです。



研修会事業

「オンラインお茶会」

11月18日（水）、白山商工会議所3階研修室に於いて、研修会「オンラインお茶会」が開催されました。

今年度、初の研修会はずいぶんオンラインを体験してみたい、体験してみようということでZoomを体験することになりました。スマホやタブレットを持参して、美味しいお菓子を頂きながらZoomを通しておしゃべりしたりチャットしたりと楽しいひとときを過ごしました。



研修会の目標は、「Zoomでお茶会に参加する」です。Zoomをインストールし、ミーティングに参加するという目標は、思ったよりも早く皆さんクリアしました。これからは、会議などもオンラインを利用することもあるかも知れません。

新しいことに果敢にチャレンジしてみよう。文明の利器は多いに使いたいものです。そういう私もなかなか後れしていません。年齢や頭の硬さが理由です。商店街の会議で止むを得ずZoomを利用してみました。出来た時の嬉しさは「やった！」でしたよ。

第20回 県女性会連合会 会員大会

12月4日(金)、第20回石川県商工会議所女性会連合会 会員大会が、輪島市で開催され、県内7女性会から83名(当女性会より9名)が参加しました。

会場中央に輪島塗を使ったテーブルコーディネートが展示され華やかな雰囲気を出していました。

大会終了後の記念講演会では、輪島市出身のソプラノ歌手の廣野美由紀氏に『違いのギモン オペラとミュージカル』と題し、オペラ、ミュージカルの舞台映像を交えて講和いただきました。



午後からは、バスに乗り、門前町の大本山總持寺祖院へ移動し、視察研修が行われました。来年開創七百年を迎える大本山總持寺は禅文化を全国各地に広めたとされています。大きな山門をくぐり、回廊でつながった本堂などを見学しました。

もう一か所、同じ門前にあるハイデイワイナリーに立ち寄り、ワイナリーの見学をしました。ワイン造りについて、味を損なわず不純物を取る工夫や、スパークリングワインの作り方などの説明を受けました。



写真(上)輪島塗のテーブルコーディネート
(右)總持寺祖の山門

令和3年新年会のご案内

新年のひとときを一緒に

日時 令和3年2月5日(金) 午後6時30分より

場所 グランドホテル白山(西新町)

皆さまのご参加お待ちしております。

詳細は同封のチラシにてご確認ください。

新型コロナウイルス感染症に対して配慮して開催を予定しております。感染の状況により中止の場合もございます。

新規会員募集中

ごいっしょに交流・活動をしませんか。女性会に未だ加入されていない知人ご友人いらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

加入資格：白山商工会議所女性会員又は、会員企業の家族・従業員で、
満18歳以上の女性の方

年会費：3,000円



エコキャップ集めてます

ペットボトルのキャップ収集を行っています。産業会館ロビー、商工会議所入り口の横に収集箱を設置しています。いつでもお持ちください。

汚れのあるもの、ペットボトル飲料以外のキャップ、アルミなどの金属キャップは、混入しないように願います。

編集後記

女性会のブログ『千代女もどきのつばやき』を始めて早8年たちました。目標は1ヶ月に1つだけでも情報を載せ続けることでした。何とか続けています。

11月のブログに温かい励ましのコメントをいただきました。何かとても温かい気持ちになりました。たわいもない日常の1コマから季節を感じてもらいたいと思っています。